

2025年

8月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで39年
(今年の9月で39年目を迎えます)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
空欄の日にはマンツマンなど個別の活動をしています。空いているところに、ご自分の予定を記入してお使いください。					金曜デイ 10~1時 アート	
3	4	5	6	7	8	9
				スタッフ ミーティング 10:15~12:45	金曜デイ 10~1時 織りもの	青年の会 10~1時
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 湧水巡り	青年の会 10~1時 アート
24/31	25	26	27	28	29	30
				スタッフ ミーティング	金曜デイ 10~1時 ボランティア	

7/12 青年の会

お鷹の道～武蔵国分寺公園



《秋の行事》

昨年好評でした府中郷土の森博物館での「プラネトリウム&昼食会」を今年も10/26(日)に行います。詳しくは後日お知らせします。

7/18 湧水巡り

ブリジストン美術館



7月のギャラリーから

ロールプリントの風



◎ご不要のハガキ等ありましたらお譲り下さい。

ひろばの通信費になります。

★学びの広場に入室する時には、マスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、ご家庭での検温など健康管理にご協力ください。

学びの広場

TEL&FAX 042-322-7160

H P <http://manabinohiroba.com/>

E-mail manabinohiroba.com@gmail.com

↑メールアドレス変更しました。



7/13 日曜喫茶

みんなの掲示板

佐藤寛子展



Hさん



Mさん



Tさん

立飛ウォールペイントプロジェクト



Iさん



Gさん

「アール・ブリュットと共に歩んだ10年」その①

アール・ブリュット作品に出会った時の、心の底から魂が揺さぶられる感動を多くの人に知ってほしいという思いで、2015年に実行委員会を立ち上げました。市民によるボランティア活動のため、資金が全くない状態からの出発でした。今も行政、企業、福祉団体、市民の皆様等にご支援いただきながらの活動を続けています。一般の方に観てもらえるには、駅に近い伊勢丹立川店で展示をしたいと思い、立川社協に繋いでいただき企画書を持って行きました。伊勢丹立川店からスタートし、様々な場所で回遊型の展示を行ってきました。

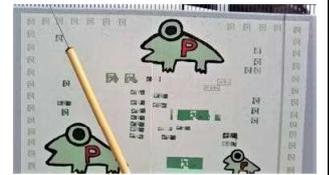
学びの広場のメンバーには2015年からずっと10年、毎年作品を出していただいています。2017年には広場から多くの方に参加していただきました。伊勢丹立川店特別室展示の他に、2階正面玄関入り口に織物のメンバーによる作品展示をお願いし、とても好評でした。伊勢丹では広場のメンバーに受付の仕事もしてもらいました。立川市子ども未来センターでは、広場は、どの団体より多い5名のメンバーの作品を展示しました。



Yさん/Fさん

2021年には、国営昭和記念公園の花みどり文化センターでアール・ブリュット作家と若手アーティストとのコラボの「アートには壁はない」という思いで展示を行い東京オリンピック閉会式で演奏した脳性麻痺のバトリスト^{しきまみずき}式町水晶さんライブ配信で音楽とのコラボも行いました。展示を行っていく中で24時間アール・ブリュット作品を観てもらえる場所が欲しいという思いが強くなり立飛ホールディングス様をお願いして180mの壁に立飛ウォールペイントプロジェクト「ドリームロード」を2年間かけて制作しました。広場からは、5名のメンバーが、壁にペンキで描くことに挑戦しました。

その場所は、地域の人たちに愛される場所になり、保育園の子ども達のお散歩コースになり街の風景になっています。また立川市から委託を受け立川駅東地下道も広場のメンバー2名にも参加してもらい、アール・ブリュット作品で彩り市民に元気を与える地下道へ変化しました。今では、東地下道を韓国アイドルがインスタであげたことで聖地になっています。「ドリームロード」や立川駅東地下道は、ポケモンGOのポケストップに7箇所選ばれ世界にも繋がっています。アール・ブリュット作品の持つ力は、時間と空間を超え、その規制概念にとられない自由な発想、魂の声、人間本来持っている表現することの喜びは、多くの人の心に訴え続けます。



Tさん/Nさん

(松寄ゆかり)

2025.8

(注) アール・ブリュットという言葉はフランス語で、アールは芸術、ブリュットはワインなどが生のままである様子を言います。正規の教育を受けてない人による、技工や流行にとられない自由で無垢な表現を称えて、フランスの画家ジャン・デュビュッフェが考案した言葉です。英語ではアウトサイダーアートと訳され、世界各地に広まりました。